



再就業を目指す方へメッセージ

# 看護職のいきいきワーク・ライフ・バランス

平成29年3月11日(土)看護教育研修センターにおいて、「看護職のいきいきWLB」と名称変更し初年度の成果発表会を開催しました。参加された病院は、10月15日アクションプラン発表からこの5か月間、それぞれ病院のミッション・ビジョンをもとに、看護職と他職種、事務部門が連携を図り、様々なアクションに取り組まれてきました。



## 平成25年より参加 笛吹中央病院

ビジョンである「仕事と生活を両立し、いきいきと安心して働き続ける職場をつくる」を目標に、4年間WLB活動に取り組んできました。看護師は生命を左右する判断の重圧や夜勤業務を行う過酷な勤務環境から、いきいきとやりがいを感じることから遠ざかっていました。そんな現状を改善するために、看護部だけではなく病院全体で取り組むことができた良いチャンスでした。

看護師の生活が満足すれば仕事にも満足が得られます。当院はママさん看護師が半数以上働いています。「いつまでも看護師として働きたい。でも自分や家族の生活も大切、自分にあった働き方があれば看護師を続けられるのに」といった意見が多く聞かれるようになり、今では105パターンの勤務形態があります。結果、有給休暇の消化率やインデックス調査からの仕事と生活の満足度も全国平均より高く、離職率も昨年は1.8%と定着に繋がっています。仲間を大切に、お互い様風土が組織に変化をもたらしています。いつまでも看護師であるために、もう一度私たちと看護のやりがいを感じてみませんか。

## 平成25年より参加 甲府共立病院

看護職が結婚・出産などさまざまなライフイベントを乗り越えて、生涯働き続けられるための支援をどうしたらよいかと考え、看護職のWLB推進ワークショップに参加して4年経ちました。毎年行う全看護職を対象にした調査では、上司との関係の良さや研修支援体制、勤務希望の通りやすさ、医療安全体制の充実、看護師を大切にしている職場と職員が感じているなどの当院の良さがわかりました。子育て中の職員にやさしい半面、若手の20歳代後半の職員の負担感があることもわかってきました。急性期の医療にならう当院ですが、子育て中の看護職も働き続けられ、看護職としてのスキルを高められる職場として皆さんの復職をお待ちします。

## 平成26年より参加 韮崎相互病院

ビジョン ● 心がかようあたたかい看護が実践できる“心あたたかい職場環境”づくりを目指します。

- 取り組み ● 1.長期休暇が取得しやすいようにしています。(82.8%の看護職が取得しやすいと回答♪)
- 2.前残業や持ち帰り仕事を減らす風土を作っています。(月の平均残業1.5時間/月♪)
- 3.看護部の交流会の活性化を図ります。(離職率2.0%)

・あたたかい職場環境は、あたたかい人間関係の交流からをモットーに、白玉ダンコの会や、味噌田楽の会、ケーキの会等を開催し、皆でワイワイ食べながら語り合っています。

職員の想い ● 来年春に、病院が新築移転するので、看護職が一丸となって“心あたたかい働きやすい職場”を目指しています。



## 平成27年より参加 峡南医療センター

峡南医療センターは市川三郷病院、富士川病院、ケアセンターいちかわ、サンビューふじかわの4施設です。もともと経営母体の異なっていた施設の統合であり、組織風土・文化の違いが大きかったため、WLBに4施設いっしょに取り組むことで峡南医療センターの同じ職員という意識醸成を図り、組織の活性化を図ることを目的としています。急性期、慢性期、老人保健施設とそれぞれの機能に応じた看護ができます。「看護職のいきいきワークライフバランス」事業に参加して2年になります。4施設、どこでもいきいきと働き続けられる職場作りを目指して業務改善や研修会等、現在取り組んでいる途中です。新たな組織風土をいっしょに作っていきましょう。